

# 令和5年度 男子バスケットボール部の指導方針等について

平成5年4月1日

## 1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	都筑 敦夫			
副顧問	本間 春樹			
副顧問	浅沼 美希			

## 2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「文武両道」を実践し、主体的に計画、行動できる生徒。
- (2) 競技大会等の具体的到達目標  
東京都ベスト32、を目指し練習に取り組む。
- (3) 社会貢献等の特色ある目標  
中学校との交流を推進し、地域の部活動の活性化に努める。

## 3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は、平日4日、土日祝は不定休とし、主体的に取り組めるようチームの課題として挙げられたものを取り組ませる。
- (2) 練習や試合等の計画  
月に3～4回程度、競技力を高めるため、他校との練習試合や合同練習を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、高校生として相応しい他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。  
人や物に対する感謝の気持ちを育む。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (1) 生徒間の暴力禁止  
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

## 5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介 関東大会東京都予選（大会・公式戦）
	5	インターハイ東京都予選（大会・公式戦）
	6	夏季農業大会（大会・準公式戦）
	7	
	8	全国定時制通信制バスケットボール大会 運営補助 TAMAリーグ（大会・準公式戦） 研修大会（大会・非公式戦） アウルカップ（大会・非公式戦）
2 学期	9	
	10	
	11	新人大会東京都予選（大会・公式戦）
	12	冬季農業大会（大会・準公式戦） ウィンターキャンプ（各県との交流試合）
3 学期	1	アウルカップ（大会・非公式戦）
	2	TAMAリーグ（大会・準公式戦） フェブラリーカップ（大会・非公式戦）
	3	